

令和2年度

## 第1回益田市総合教育会議会議録

日 時 令和2年5月14日（木）10：00～

場 所 益田市役所 第1会議室

益田市教育委員会

## 第1回 益田市総合教育会議

開催年月日 令和2年5月14日（木）10時00分～

開催場所 益田市役所第1会議室

### 日 程

1 市長あいさつ

2 議事録署名

3 議 事

（1）5月18日からの普通登校の再開について

①5月11日から今日までの状況について

②放課後児童クラブの状況について

（2）その他

## 出席者

### 総合教育会議

益 田 市 長  
教 育 長  
教 育 委 員  
教 育 委 員  
教 育 委 員  
教 育 委 員  
小中学校校長会会長  
小中学校校長会副会長

山 本 浩 章  
柳 井 秀 雄  
中 野 純  
舟 橋 道 恵  
村 上 三恵子  
梅 津 富美子  
領 家 芳 明  
倉 橋 宏 明

### 事務局職員

教 育 部 長  
ひとづくり推進監  
健康子育て推進監  
教 育 総 務 課 長  
学 校 教 育 課 長  
学 校 教 育 課 参 事  
社 会 教 育 課 参 事  
文 化 財 課 長  
人権・同和教育推進室長  
子ども福祉課長  
美 都 分 室 長  
教 育 総 務 課 長 補 佐  
教 育 総 務 課 主 任

野 村 美 夜 子  
大 畑 伸 幸  
山 本 ひとみ  
長 嶺 勝 良  
田 原 啓 文  
森 脇 達 也  
岡 崎 賢 一  
山 本 浩 之  
石 田 公  
又 賀 禎 紀  
中 島 純 子  
齋 藤 勝 義  
中 田 香 織

長嶺課長

定刻になりましたので、ただいまから令和２年度第１回益田市総合教育会議を開催させていただきます。

この総合教育会議につきましては、法律上原則公開という形になっております。ご案内したところ、幾つかマスコミの方がいらしておりますので、入っていただいてよろしいでしょうか。

＝全員了承＝

長嶺課長

それでは、総合教育会議の開会に当たりまして、山本市長から挨拶をさせていただきます。

## １ あいさつ

山本市長

皆さん、おはようございます。本日は、令和２年度第１回の益田市総合教育会議ということですが、コロナウイルス感染拡大の中、いろいろとご苦労いただいている中でご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日ごろから益田市の教育行政に対しまして格別なるご尽力を賜っておりますことに、改めて感謝の意と敬意を表する次第です。

さて、教育におきましてもコロナウイルスへの対応が最も重要な課題となっています。そうした中で、特に学校については休校や入学式、卒業式の措置、あるいは休校中の児童生徒をどのように守っていくかといったことが本当に日々喫緊の課題として議論しているところでございます。そうした中では、今月１１日から段階的な部分的な登校、また今案としては週明け、５月１８日からの全面的な登校の再開に向けてさまざまな準備をしているところでございます。

また、５月８日には小中学校の校長先生方と私の間で意見交換をさせていただきました。校長先生方とじかに、また表面的ではなくて具体的な中身について意見交換をするということはこれまでなかったことでありますが、コロナウイルスに限らず教育の問題につきまして、幅広い見地で物事を意思決定していく上では、やはり教育現場と行政の者の意思を共通にしておく、情報を共有していくということは非常に重要なことであると考えています。

そうした意味では、この総合教育会議もしばらく開催されておりましたが、やはりいろいろな課題や状況について情報共有しておくということは非常に重要なことでありますので、今後は教育委員会と市長部局、また特に教育委員会の中でも学校現場等、双方の意思共有を密にしていくなような努力をしていきたいと考えているところでござ

ざいます。今日も現状の課題や、また今後に向けてのさまざまな課題を整理させていただきたいと思っております。

また、そうしたこともありまして、今日はこの総合教育会議に、小中学校の校長会の方々、また教育委員会と離れて市長部局からも出席しておりまして、いろいろと状況をお聞かせいただきたいと思いますところでは。

それでは、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

長嶺課長

ありがとうございました。本日この総合教育会議を3年ぶりに開催いたします。改めて総合教育会議について紹介をさせていただきたいと思えます。

これは地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条に規定されている会議という位置づけになっております。この会議は、平成23年、滋賀県の大津市で起きた事件をきっかけに国において教育委員会制度の見直しが行われました。その際に、先ほど言いました地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正とともに、首長、益田市でいうと市長と教育委員会が相互の連携を図る。それにより、一層民意を反映した教育行政を推進するために設置されたという目的を持っております。

なお、この会議は何か決定していくという決定機関ではございません。また、市長から皆さんへ諮問をするという類いの機関でもありません。会議も基本的には原則公開という形にはなっており、協議を行うための諸条件の整備、その他いろいろな事情に応じて会議を開催するものとなっております。

以上、ご紹介させていただいたということで、本日は自由なご意見をいただいて、意思疎通を図っていきたいと考えています。

それでは、議事のほうに入らせていただこうと思えます。

議事進行につきましては、過去の総合教育会議の状況に合わせて、市長のほうで進行していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 2 議事録署名

山本市長

それでは、進行をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。初めに、議事録署名者の指名をさせていただきます。本日は、中野委員、村上委員にお願いいたします。

### 3 議事

#### (1) 5月18日からの普通登校の再開について

##### ①5月11日から今日までの状況について

山本市長

それでは、早速議事に入ります。益田市におきましては、新型コロナウイルス感染症対策本部会議におきまして、国の緊急事態宣言とともに皆様方のご意見も踏まえつつ、4月21日から5月6日まで市内小中学校を一斉臨時休校としたところです。その後、5月10日まで休校を延長してまいりましたが、連休最終日の5月6日の臨時教育委員会を踏まえまして、5月7日の対策本部会議において、5月11日から15日までの午前中登校の実施と、18日からの普通登校を予定として決定してまいりました。この普通登校にあたりましては、教育委員会の中においても、途中経過として状況を確認することも必要ではないかというご意見がありましたので、この午前中登校の様子を全体で情報共有した上で、万全の態勢で18日の登校再開を迎えたいと考えております。

まず、学校教育課として、全体の様子をここでお伝えしたいと思います。

続いて、学校現場を代表して益田市小中学校校長会役員の皆様にもお越しいただいておりますので、現場の状況についてもご報告いたしたいと思います。

それでは、学校教育課からお願いします。

田原課長

私のほうから現場の状況等についてお伝えをさせていただきます。

まず、5月1日に政府から新型コロナウイルス感染症対策の現状を踏まえた学校教育活動に関する提言並びにそれにかかわる文部科学省からの通知が出ておりまして、その中では、学校再開に当たりましては、社会全体が長期にわたってこの新たなウイルスとともに生きていかなければならないというリスクがある中ではありますが、リスクを可能な限り低減しつつ、段階的に地域の状況を踏まえて学校活動を再開していくことを提言されました。

その中で、先ほど市長からありましたとおり、益田市の小中学校について、学校再開に向けて協議を行い、現在5月11日から15日のところで午前中授業で、給食後に下校という形で進めているところです。現在までの状況を踏まえまして、このままの状況であれば、5月18日以降について通常の学校再開ということも視野に入れながら検討していきたいと考えているところです。

再開に当たりましては、4月の段階でガイドラインをつくっておりましたが、それを補強する形で新たに新しい生活様式などを踏まえまして、追加をさせていただきました。

本日お配りしております資料、項目1の②のところをご覧ください。

再開に向けたガイドラインでは、身体的距離の確保をさらに徹底していきたいと考えております。それから、児童生徒、それから先生方について、マスクの着用についてお願いをしていきながら、各校にもさらにマスクの配付を行っているところです。

それから、大分過ごしやすい気候にはなっただけでしたが、換気については逐次行っていきたいと考えております。さらに暑くなる可能性もありますが、学校に設置しておりますエアコン等を使いながら換気を行っていきたいと考えているところです。

また、手洗いの呼びかけについて、人数の多い学校、少ない学校があるわけですが、手洗い場が密にならないような工夫を行いながら、午前中1回、給食前1回に、30秒程度の手洗いを行っていきたいと考えているところです。

授業中についてもやはり配慮が必要になってくると思います。文部科学省の通知の中では、当面の間行わないものとしまして、音楽科、家庭科、美術科、体育科について、それぞれこの資料にも書かれておりますような形の授業については、当面行わないような形で進めていくよう示されておりましたので、益田市においてもそのような形で行っていこうと思っております。

授業中の配慮につきましても、児童生徒が密集して長時間活動するようなグループ活動についても控えていくような形にしてありますが、現在全国的にもそうですが、学び合いといいますか、子ども同士で会話を通じながら学習を行っていくという流れの中で、なかなかこのあたりが、学校での学習活動が昔のような座学といいますか、そういった形のものに変わっていくというところに、学校現場でも、このグループ活動について、どういった形で行っていけばいいのかというところが悩みの種というところではありますが、まずは通常どおりの学校活動を取り戻すというところを前提に進めていきたいと考えているところです。

現在までの児童生徒の出席状況等につきまして、森脇参事から説明をさせていただきます。

森脇参事

11日から半日の学校再開という形で段階的な再開になっております。

月曜日は小中学校で大体17名の児童生徒が欠席でしたが、このあたりにつきましても、急な再開ということもあり、発熱、体調不良等がおおよそ半分という状況でした。感染回避ということでは、6名の児童生徒がお休みをとられております。

火曜日、水曜日はほぼ同数で推移しております。暖かくなりまし

たが、急に冷え込んだり、体調管理の難しい時期でもありますので十分な状況ではないのかもしれませんが、それぞれの学校においても、子どもたちの様子をしっかりと観察していただいている状況であります。

田原課長  
山本市長

学校教育課からの説明、報告は以上になります。

ありがとうございます。

それでは、学校現場から、まず小学校の領家先生からお願いします。

領家会長

吉田小学校の校長をしております。今日は、総合教育会議の中で、学校現場の様子をお話しさせていただく機会をつくっていただきましたこと、本当に感謝いたします。

臨時休校から3週間たちまして、5月11日から学校が再開しております。学校を再開するに当たって、市から出されたガイドラインを参考にしながら、いろいろな形で対応を準備しながら進めてきたところです。

益田市の小学校は、小さな学校は十数名の学校、吉田小学校は593名の児童がおり、規模もさまざまでございますので、それぞれの地域の実態や学校の状況、それから施設の様子等をそれぞれの校長、あるいは校長を中心として職員みんなで知恵と力と心を合わせて、再開に向けてさまざま取り組んでまいりました。本日は吉田小学校の様子を少しお話しさせていただいて、小学校の様子にかえさせていただければと思います。

吉田小学校は、先ほど申しましたように児童数が593名、それにかかわる教職員が54名いますので、650名が毎日同じ形、同じ施設の中で暮らしております。市から出されたガイドラインを踏まえて、4月からさまざまな形で取り組んでまいりましたが、新たにこの5月11日からの再開を目指してということで次なようなことに取り組み始めました。

まず、身体的な距離の確保に努めるということで、もう一度教室の机の間隔などの見直しを図りました。子どもが一番多いクラスでは35名の児童がおります。前後の間隔をかなり開けるようにして、子どもと子どもの距離が1メートルを若干超える距離を確保することができました。ただ、横幅につきましては、教室の幅が限られていますので、子どもと子どもの間隔が70センチ、80センチの間隔を開けて、そういった状況で学習を進めております。

それで、教室の中にポイントをつくることにいたしまして、学習をしている時間のポイントと、それから給食が始まるポイントの2カ所のポイントを準備して、子どもたちの目安になりながら、何となく子どもたちの自然空間ができるような、身体的な距離が保てるよう取り



組んでおります。給食のときには少し間隔を狭めないといけません。教室満帆に机を広げていますので、廊下で給食の準備ができる高学年はいいですが、低学年はそこまでは難しいですから、給食のときには少し距離を縮めながら、給食の準備ができるスペースを確保しながら配膳をしております。給食はそれぞれセルフ方式でお皿にとっていく形にしていますので、順番を待つの、いわゆる百貨店等でありますような足跡をつけたり、ガムテープで目印を張ったりと、そんなことをしながら、子どもたちに知らず知らずのうち身体的な距離といひますか、社会的な距離がつかめるような工夫をしております。

それから、手洗い場の水道も、1カ所が7口ございます。階によっては、2カ所あるところと1カ所というところがありますので、1つの階に100人ほどの子どもが生活していますので、密を避けるために、廊下の下に目印をつけて、待ち方についても準備をしました。そして、特に手洗いが一斉に混み合う時間帯には、担当する教職員も手洗い場について子どもたちの様子を見るようにしております。これは4月当初から行ってまいりましたが、今回は足跡の目印を付けて明確にし、学年相応に応じた形でまずルールのようなものもあわせて取り組むようにしています。

こうしたことを通して、いわゆるソーシャルディスタンスと申しますか、それを子どもたちが身につけるような取組を行っていきます。

5月11日の登校の様子、それから学校の改善した様子などをひとまるビジョンに取材に来ていただきましたので、市民の皆さん方にもそんな様子を紹介していただけたのではないかと思います。

それから、図書室については、1つずつ座る椅子のスペースを開けるようにして、1メートル、2メートルの感覚で利用できるような形にしましたので、そういうふうなところも含めて紹介していただきました。

2点目には、4月の臨時休業中に文部科学省からマスクを配布していただきました。それから、3月には市内の企業の方から吉田小学校に布製マスク200枚をプレゼントしていただきました。それから、市からも備蓄のマスクをたくさん提供していただきました。5月11日からは全員マスク着用ということで、保護者の皆さんにもお願いしております。登校のときから下校までマスクを着用するということが、登校初日につきましては、なかなか準備も整わない子どもたちもいましたので、1割ぐらいの子どもはマスクをせずに登校をしてまいりましたが、市からいただいたマスクを配ったりしながら、学校生活はみんなマスクを着用して過ごしているような状況です。

3日、4日とたってみて、職員と話題にしているのは、体育の時間

のマスクについてです。どのような形で体育をやっているときにマスクをつけたり、あるいは待つときはどうしても体育の時間ですからだんだん距離が狭まってしまいますので、そのときにはマスクをつけようというような話をしております。

それから、中間休み、昼休みに外で遊ぶ子どもたちが激増しました。3週間の間、子どもたちもいろいろな思いがあったんだろうと思いますが、このときはマスクをしようかというところも話しております。

ただ、本校は長時間歩いてくる子どもたちがいます。安田小学校との境のあたりに住んでいる子どもたちは45分ぐらい歩いてまいります。これをずっとマスクをしたまま歩くと、かなり体力的にも鍛えられるとは思いますが、暑いというようなことも言っておりますので、その辺も少しずつ場所に応じた対応というところもアドバイスしながら子どもたちに関わっていかないといけないという話をしております。

各教科の指導については市からいただいたガイドラインのとおりに対応しておりますが、スクールカウンセラーから子どもたちの心の面について、3週間の休みの間にアドバイスを受けましたので、その対応を大事にしようとしています。

まず1つ目は、再開できたことは、本当に子どもたちもうれしいことでした。その喜びを思いっきり出そうという取組をいたしました。5月11日、朝、登校してくる子どもたちの様子は、3月臨休、それから4月の春休みが終わった後の登校の様子と若干様子が異なっていました。あのときは元気よく、新しい学期も始まった後のことで本当にうれしそうに挨拶もよくしてくれましたが、今回の5月の臨時休業明けの子どもたちの様子は、どちらかという不安な様子を持って登校してきたという感じがします。

そういったことも含めて、再開できで良かったという話をして、1時間、2時間、クラスの子どもたちとともに過ごす中で、だんだん笑顔が戻ってきて、先ほど申しましたように、中間休みには外遊びをみんなで楽しんだり、昼休みにはどんどんそういった子どもたちが増えてきて、下校のときには朝の様子とは変わった、また笑顔が戻ってきたように感じています。今、登校再開して4日目ですが、今朝はほぼ通常のこれまでの子どもたちの笑顔と挨拶がかわされる、そんな朝が戻ってきた、やはり子どもたちの日常を取り戻すというのはとても大切だということを確認しました。そんなことも、スクールカウンセラーからいただいた健康観察や、子どもたちの様子をよく感じて、子どもたちの心の声を聞きながら教職員が対応してくれた、そんな姿があるんだろうと思っております。

それから、もう一つアドバイスをいただいたのは、これまでやっ

ている子どもたちの対応一つ一つがとても意味のある対応だということ丁寧に説明してもらえないだろうかという話を伺いました。今回の臨時休業は、社会の一員だからとても大事なんだというだけではなくて、例えば、先ほど申しましたような手洗いを30秒するのは何の意味があるのか、あるいは先生たちが放課後消毒しているのは何の意味があるのか、それから人と人との距離を離して待つというのはどんな意味があるのか、そんな行動、一つ一つを丁寧に説明することで、押しつけルールではなくて、子どもたちも納得し、これからの社会を生きていく上で大事なことだということを伝えながら、意味のあることとして伝えることを大切にしてくださいというお話をいただきましたので、そういったところを丁寧に組み立てているところです。

あわせて、保護者の皆さんとの連携をより強化するほうが、家庭でのいろいろな気づきがつながるということで、これまで以上にメッセージを送ったり、きめ細かな連絡体制をとるように努力をしております。

それからもう一つは、次にいつ、こういったことがあっても大丈夫なように準備しておきましょうということを言われていますので、教職員もそれを心にしながら、日常が少しずつ取り戻されていくことに喜びながら過ごしております。

山本市長

ありがとうございます。それでは、中学校から倉橋先生お願いします。

倉橋副会長

益田東中学校の倉橋です。中学校も小学校と同じように市内500名規模から数名規模の学校まで規模がさまざまです。それぞれの規模に応じて、あるいは地域の状況に応じながら対策をとりながらやっていこうということで、市から示していただいたガイドラインに沿ってやっております。11日から再開された様子を見ると、比較的市内どの学校も落ちついて登校できているという印象です。本校でも大きな混乱はなく、多少休みが長く続きましたので、生活のリズムが崩れている子がいたりして、朝起きられなかったために遅刻したという生徒はいましたが、ほぼ全員元気に登校しました。

久々に学校へ来て友達と話せる喜びというのは小学生と同じで、非常に楽しそうに校内のいろいろな場面で話をしたり笑ったりということで、学校に子どもたちの声が帰ってきて、職員も元気になったと思います。

そうはいっても、本校の例でいいますと1クラス35名程度いますので、密の重複を回避するということを意識して行っております。具体的には、窓は全開で、体操服登校も認めております。学校では通

年、飲み物も自分で持参していいということにしております。どうしても休憩時間に喉が渇いて水を飲みに行くと、手洗い場が集中しますので、そういったところも普段からやっていることが生きたと思います。

生活のリズムを取り戻すため、今週は午前中登校ということで再開して、子どもたちも教員も少し気持ちのゆとりが持てて、結果的によかったと受けとめています。給食を食べて、掃除をして、終礼をして帰しますが、終礼後に教育相談を入れている学年もあります。いろいろな不安を持っている可能性もありますので、そういったところを少し聞いたり、生活のリズムの乱れが気になるような子には個別に指導したり、普段は生活ノートといって連絡帳に自分でコメントを書けるようなものを持たせていますが、休校中はそれを書いてもらって、それを見ながら子どもたちの変化をつかんで、気になる子どもには声をかけたりということをしています。学校によっては再開された後に生活アンケートをとって、心の状況をつかもうとしたような学校もあります。学校のそれぞれの状況に応じて、生徒の心の状態、体の状態をつかみながらスタートして、今いい形で来ているのではないかと思います。

この状況で来週通常になれば、中学校では部活動も再開できるのではというふうに思っており、子どもたちはそちらも楽しみにしております。非常にエネルギーがあり余る時期ですので、小学校と同じように中学校も昼休みになると、休みに入る前よりは余計に外へ出て体を動かしたり遊んでおります。

学習面については、3月のところで多少、未学習の内容があって、それを4月の最初の段階で学習した上で今年度の新しい学年の学習という方向で考えていた学校がほとんどでしたので、それをやりかけていて、また2度目の臨時休業に入りましたので、どれぐらい未学習があるかというところは、教科や学校によって違いますが何とかクリアしながらやっていきたいと考えています。

特に3年生は進路のことも出てきますので、今後、3年生の学習の支援というところを他の学年に比べると手厚くしていかなければいけない、対策を考えていかなければいけないということで、各校いろいろな行事であったり、長期休業について検討に入っているところです。

山本市長

ありがとうございます。それでは、ただいま学校教育課と小学校、中学校の校長先生から状況についてご報告をいただきました。この中で、各教育委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお願いしたいと思います。

梅津委員

先ほど、出席状況の中で17名の欠席者で、体調不良が半数という

ことでしたが、その後の半数というのを、こういった状況だったのかということについてお聞きしたいです。

森脇参事

体調不良という形で、およそ半数の方がお休みでした。あと、学校再開に当たって、5月11日から密の状況に子どもを置くのは若干迷いがあるという保護者のご判断で、いわゆる感染回避という形でお休みをされた方がいらっしゃいます。これにつきましては、学校は出席停止という、いわゆるインフルエンザなどと同じような形で処理をさせていただきます。

あわせまして、ゴールデンウィーク中に親しい方のご不幸があつて県外に行かなければいけなかった状況があつたご家庭で、5月11日とその移動された日に近いということで、しばらく自粛をさせたいということもありました。子供さん自体の感染を回避させたいというご家庭もあつたり、県外へ出たので周りの子どもと少し距離を置きたいというご家庭もありました。

梅津委員  
村上委員

わかりました。ありがとうございます。

学校の授業の再開に向けては、教育委員会の中でも5月6日に午前と午後と意見が大きく変わったり、情報の中身も変わってきたりする中、非常に不安のある中での再開でしたが、学校の先生方、現場の方々が再開に向けて努力をしてこられたということに心から敬意を表したいと思います。子どもさんや保護者の方たちと会う機会がありまして、様子を聞きましたら、先生方がおっしゃるとおり、保護者の方は再開をしてほしかったということと、子どもたちもにこにこしているということで、この再開に踏み切ったことが結果として良かったと感じております。18日に向けて気温も上がってきていますし、メディアの中でもマスクの着用と熱中症対策とあわせていろいろな意見が論じられている中でもありますので、マスクの付け方、取り扱いについては今後考えていかなければならないことであると感じました。

山本市長  
舟橋委員

ありがとうございました。

再開するにあたっては本当に悩みましたが、今日こうして校長先生方のお話をお聞きして、現場の努力について本当に敬意を表したいと思います。

でも、これで安心はするべきではないということは常に思っていないといけませんので、教育委員会としてもいろいろな形、気をつけてほしいというところの発信はしていけないと思っています。

それから、子どもたちの精神的な部分、それと学力面もありますが、吉田小のカウンセラーの方はすばらしいご指導をしてくださったと感じました。これからも学校現場の様子もお聞きしながら、できるだけ学校が主体的に動ける形をとりながら、いい方向に目指していけたら

山本市長  
中野委員

いいなと痛切に感じたところです。

子どもたちの様子について、学校の生活もそうですが登下校について気になることがあります。うれしそうな顔で登下校していますが、中には密着しているという状況も見かけましたので、時々我に返って、気をつけないといけないという思いが持てるよう、その辺りも気を付けていただけたらと思いました。これから先がまた大事ですので、緩みのないようお互い気をつけていきたいと思います。

ありがとうございます。

学校の様子を丁寧に伝えていただきまして、大変ありがとうございます。

その中で、感激したところでいうと、まず教職員の皆様がしっかり子どもたちのサポートをされていらっしゃるということです。手洗いでのサポートであったり、中学校からは生活ノートということで、休校中もどんな様子で過ごしていたのかということも把握できるようにされていたということで、学校再開のときにはそのケアもさらにできるような、そういった体制をとられていたというところに対しては非常に感激をしたところです。

私もいろいろな思いがある中で、5月11日の学校再開ということには賛同したわけですが、経済情勢も含めて非常に逼迫している状況ではありました。しかしながら、再開をしたというところについては、まず、保護者の方は非常に喜んでいらっしゃいました。給食も提供していただけたということで、改めて今回こういう状況下の中でそのありがたみといいますか、感謝の気持ちということは非常に強くなったのではないかと感じました。

それから、教職員の方々のモチベーションの部分が非常に気になってはいましたが、ようやく再開できてよかったという声をお聞きしております。やはり子どもたちを早く学習指導したいという先生方も多かったことと思いますので、今回の判断については、いろいろなリスクはあるものの、良かったのではないかと思います。

学校が再開して私も街頭指導ということで、子どもたちの様子なども見ておりました。通常どおりと感じたところもありましたが、先ほど校長先生からも挨拶のことがありましたが、不安の中で学校登校をされているお子さんもおりましたので、十分な挨拶もできていなかったりとか、歩き方なども少し心配な様子も初めはあったように思いますが、昨日ぐらいからしっかり挨拶もしますし、しっかり地に足を着けて登校するという姿が見えたので、徐々に平常に戻れるような状況下にあると思います。遠目ですが、自転車通学する中学生も拝見しましたが、話をしながら登校する姿もありましたので、学校再開と

いうところについては喜んでおられるのではないかという印象を持ちました。

先ほどの領家校長先生からお話がありましたとおり、今回の取組の意義について、改めて子どもたちがしっかり学んだと思いますのと、これまでと状況が違うということで、子どもたちなりに何か感じ取ったような状況ではなかったかと思っております。

私がちょっと心配するのは、未学習の部分のお話が倉橋校長先生からありましたが、この辺の対応について、今後、そういった話が出るのでしょうか、学習時間の確保というのが非常に厳しい状況にありますので、夏休みだったり冬休みだったりの対応については非常に気になる場所ですし、体育の時間のマスクの取扱いについてもさまざまな対応があるとは思いますが、一番は子どもたちが安全安心に学校生活を過ごせるようにどうしていくのかというのが重要だと思いますので、一緒になって考えて、取組ができるようにしていくことが必要であらうという気持ちになりました。

山本市長  
柳井教育長

ありがとうございました。

校長先生方ありがとうございます。益田市教育委員会としましても、このたびの再開に向けては決断しづらい中での判断だったと考えております。ただ、この管内ですべて発生していない、また県内でも長らく発生していない。やはり市民一人一人が不要不急の外出をしないという呼びかけに一生懸命になっているからではないかと思えます。教育委員会としましても、子どもたちの安全安心を守る義務があります。それをもとにしながら、現状を考えたときに、子どもたちの精神的な面、学習の面、さまざまな不安の中で決断し、再開にこぎつけました。先ほどからいろいろな方がおっしゃっておられましたが、初日の登校時には子どもたちの挨拶に元気がなく、返ってきませんでした。それから日にちが経ちますと、子どもたちの声も明るくなっておりまして、少しずつ学校の中に慣れて、学校へ来る喜びを感じているのではないかと思うこともあり、再開して良かったと感じております。学校においてはやはり登下校も含め、子どもたちの安全安心をどう守っていくかということで、教育委員会からガイドラインを出しましたが、校長先生と面談をする中で命を守るところは徹底するように強くお願いしました。当然校長先生方も意識してやっていただいておりますので大変ありがたく思っております。

これからも、安全意識の徹底は決して緩めてはいけません。これまでの日常生活には戻すことはできないと思いますが、国では新しい生活様式というものが出ておりますので、しばらくはそういう中で、終息に向かうように一生懸命学校とともに取り組んでいければと思っております。

ります。

山本市長 今、各教育委員の皆様から、また教育長からご意見をいただきましたが、重ねてご意見がございましたらお願いします。

梅津委員 水分補給を自分でということがございましたが、先日、中学生の子どもさんが熱中症で亡くなりました。マスクをすると喉の渇きがわかりにくいということでしたので、マスク着用にあわせて水分補給もしっかりとるように、気をつけていただきたいと思います。

## ②放課後児童クラブの状況について

山本市長 一通りご意見をいただきましたので、次に放課後児童クラブの状況についてご報告をいただきたいと思います。

今日は、福祉環境部の子ども福祉課から職員が出席しております。では、放課後児童クラブの対応について、様子をお願いします。

又賀課長 福祉環境部子ども福祉課の又賀でございます。子ども福祉課は、保育所、幼稚園、認定こども園、また、放課後児童クラブを所管しております。そうした中で、保幼小連携といったところで、放課後児童クラブにおいては、小学生の放課後の過ごす場ということで、教育委員会、学校とも連携の深い部署でございます。

まず、3月のところからの状況でございます。

3月3日から24日までの小学校の休校にあわせまして放課後児童クラブの開設をいたしました。これにつきましては通常の開所ではなく保護者の方がご自宅で保育ができるという状況であれば、ご利用を自粛していただきたいと思いますところの中で、利用者としてしましては、通常おおむね400人程度が利用されておりますが、平均で見ますと207人ということで、約半数の方が自粛にご協力をいただいたという状況でございます。

それから、開設時間につきましては、学校がお休みということですので、春休み等の場合と同様に7時45分から18時までという時間としたところでございます。

それから、3月25日から4月7日までの間は学校も長期休業でしたので、通常どおりの開所となっております。

その後、4月8日から4月20日までの間が通常どおりのおおむね14時から18時というところでございました。これは、学校の放課後の時間に合わせて若干前後しております。

その後、4月21日から5月8日までの10日間のところで緊急預かりという形に変わりました。内容としましては、教育委員会と話をさせていただきまして、また小学校にもご協力をいただきまして、放課後児童クラブと学校の教室をお借りして、密にならないよ



うに分散して実施しました。また保育所での一時預かりについても実施しました。

緊急事態宣言というところの中でも、子育て支援という面も保護者さんの就労支援という面もございますので、そうした中で医療、介護、保育に携わる保護者の方、それからひとり親のご家庭の方の児童についてというところで制限をかけさせていただきました。そうした中で、申込者が118名ありました。こちらは放課後児童クラブだけではなくて、保育所の利用者も含まれております。1日の平均が75.9人という利用の状況ということでございました。

クラブのほうでも感染防止というところで、手洗いなどを徹底し、支援員また学校の先生方にご協力をいただいて、対応ができているところでございます。

5月11日からの小学校の部分的な再開というところでの状況でございますが、これは通常開設でありましたが、利用の状況といたしましては1日平均が342人ということで、全体的でいいますと74%という状況でございました。昨年と比べますと約80%を超えるような利用の状況ですので、まだ利用を自粛されておられる方もいるというような状況でございます。

こうした中で、クラブを回って、利用していただいている児童にお話を聞いたところでは、久しぶりに友達に会えてうれしかった、楽しく過ごせたということを伺いました。

最後に、18日からの通常の小中学校の再開というところにあわせてまして、クラブにつきましても通常再開にしたいと思っております。

山本市長

ただいま放課後児童クラブの状況について報告いただきましたが、これにつきましてご意見やご質問等がありましたらお願いしたいと思っております。

舟橋委員

子どもたちの預かりをしていただくということは、保護者の皆さんにとって本当に心強い気持ちで過ごされたのではないかと思います。その支援者について何かお困りのことがあったか知りたいと思います。

又賀課長

支援員という形をお願いしている方が約100名弱いらっしゃいます。特に今回におきましてはクラブの開設時間を早めたいというところで、通常お昼から出ていただくというところを、朝から対応していただいたというところがございます。

それからもう一つは、緊急預かりの中では、通常のクラブに登校しており、見知った子どもさんがおられるというところですが、保育所の預かりの子どもさんや、クラブがない学校区がございましたので、自分の学校区ではないところに行ってくださいましたので、支援員の皆様にはご協力をいただきました。

就労に係る部分については、支援員さんの中には配偶者の扶養の範囲で働きたいというような事情の方もおられ、その中での配置というところで大変お手数をおかけしたところもあります。また個別のところでもいろいろご相談等がありましたら、続けて相談を受けたいと思います。

舟橋委員

ありがとうございました。用事があり各園を回ることがありました。各園が安全安心な措置をとられており、手洗いなどもきちんとされており、とてもよい対応をされていました。どの園も本当に元気に生活していると感じましたので、良い状況でおられるのだと思いました。ですので、支援員さんも大変苦しいときもあったかと思いますが、それを乗り越えて、皆さん、自分を抑えながら頑張ってきたからこそ今があるのだとも思いますし、本当に感謝しておりますので、是非皆さんに伝えていただきたいと思います。ありがとうございました。

柳井教育長

特に4月21日から5月8日までの緊急預かりにつきましては、教育委員会事務局からも現場に行かれたということですが、それ以上に学校の職員の皆さんが子どもたちに関わっていただいて、日々よく知っている子どもさんだから、そういった中でも生活ができたということも聞いておりますので、小学校の職員の皆様には大変ありがたく思っています。

村上委員

今回の件で、子どもたちの学校が終わってからの生活の場として、放課後児童クラブのニーズが大きくなって、学校の先生方との連携が今まで以上に、子どもたちを介しての連携も深まったのではないかと感じております。これからも続けていけるようにと願っております。

また、教育部局ですが、こういったガイドラインを作成しておりますが、これについても今後見直しをしていきながら拡張をしていったり、つけ加えていくことも多いかと思いますが、放課後児童クラブの方々とも共有しながら進めていかれることを期待しております。

また、支援員の方々とお話をすることもありまして、子どもの学力のことも気にしながら、また自分たちも感染のリスクを抱えながら、本当に努力をしておられたというところを感じております。ありがとうございました。

柳井教育長

この休業中に各学校の先生方が、家庭訪問を行っていない中で、いろいろな方法で家庭との密な連携をとってきたのではないかと思います。こういったことは、これから学校が再開していく中で、何かしら役に立つのではないかと思います。

山本市長

今までの話し合いの中で、学校の状況と放課後児童クラブの状況については、全体の認識の共有ができたと思います。ここで、県内の小中学校の現状について、対応について、今時点で明らかになっている

ことがありましたら報告をお願いします。

田原課長

お配りしております資料の最後に、学校再開、他市等の状況について、県内他市及び近隣の市の状況についてお示ししております。各市町でホームページに公表しているものをもとに、市町に確認したものを示しております。

安来市、江津市、浜田市につきましては、益田市と同様の対応を公表しておりまして、確認したところ、このまま順調にいけば18日から通常どおり学校再開するというご回答をいただいております。

それから、津和野町、吉賀町につきましては、今週の月曜日から通常どおりの再開をされておられます。

松江市、雲南市、出雲市、大田市ですが、確認したところ、松江市につきましては、本日の国の判断をもとに見直しを考えているところではあるが、お答えできるようなものは今のところないというご回答でした。

それから、雲南市につきましては、5月31日までは臨時休業を引き続き行くと公表されておりますが、18日からは分散登校に向けて現在検討しているという話がありました。ただし、国の判断、県の判断を受けて、18日からの学校再開も視野に入れながら検討しているところだというお話をいただいております。

それから、出雲市については、18日から通常どおりということでした。

それから、大田市につきましては、11日から18日までは分散登校をし、19日から通常どおりの再開となる見込みという話でした。

おおむね県内の市町につきましては、今後何事もなければ、18日以降のところで通常どおりの学校再開を進めているということでした。

山本市長

県内の他市や近隣の町の状況について報告いただきました。

益田市としては、5月7日の新型コロナウイルス感染症対策本部において、5月18日月曜日から普通登校を再開するという判断をしているところです。このことにつきまして、改めて皆様方からのご意見をいただきたいと思います。

中野委員

予定どおり進めていただいて構わないと思います。しかしながら、予断を許さないということで、いつ感染者が出るかわかりませんので、気を緩めることはしないように進めていっていただきたいと思います。

村上委員

この1週間は日常を取り戻す1週間として、とても有効であったと思っています。感染防止に気をつけながら18日の再開について賛成をしております。

梅津委員

私もこの1週間は、18日から平常どおりに戻るための期間としてとても大切だったと思います。私の住んでいる地域は熊除けの鈴をつ

けて登校しますが、これをつけながら元気に登校する姿を見ると、平常を取り戻しつつあると感じておりました。

舟橋委員

18日から通常どおりでいいと思います。今の状況を見ると、特別何かが起こっているという状況でもありませんので、このまま続けていったほうがいいと思います。

柳井教育長

皆さんと同じですが、今まで以上に気を引き締めて、やはり保護者も市民もそういった思いでやっていくことがコロナ対策につながっていくと思います。今後も状況は変わっていくと思いますが、国、県の判断を踏まえながら、変わってくる部分についてはしっかり対応していきたいと思います。

山本市長

そうですね。つけ加えますと、学校が再開になった後も、市内の学校の関係者、児童生徒、教職員、それから新たなそういった方々の濃厚接触者の中で感染が出た場合にとどまらず、市内で感染者が出た場合においては、その段階で一斉休校して、保健所の感染状況の確認等を待った上で、その再開の判断をしていきたいということには変わりはありませんので、その点はご了解いただきたいと思います。

その上で、先般の対策本部会議で決定しましたように、5月18日から普通登校を再開するという事で意見の一致を見たと考えております。このことにつきましては、本日15時に対策本部会議が開催されますので、そこで教育委員会の事務局から本日の議事の内容についてご報告をいただいて、意思統一を図っていきたいと思っております。

それでは、議題の(1)の5月18日からの普通登校の再開については以上で締めさせていただきます。

長嶺課長

以上をもちまして第1回益田市総合教育会議を閉じさせていただきますと思います。ありがとうございました。

＝終了時間 11時59分＝